

平成22年流山市教育委員会議第10回定例会会議録

- 1 日 時 平成22年10月28日(木)
開会 午前 9時40分
閉会 午前 10時40分
- 2 場 所 流山市役所4階委員会室
- 3 出席委員 委 員 長 松浦 尚二
委員長職務代理者 奈良 文雄
委 員 辻 孝
委 員 加藤 和代
教 育 長 鈴木 昭夫
- 4 傍聴者 なし
- 5 出席職員 学校教育部長 渡邊 哲也
学校教育部次長兼教育総務課長 石本 秀毅
学校教育課長 杉浦 明
指導課長 寺山 昭彦
生涯学習部長 海老原廣雄
生涯学習部次長兼生涯学習課長 友金 肇
公民館長 戸部 孝彰
図書・博物館長 川根 正教
- 6 事務局職員 教育総務課長補佐 平川 誠治
教育総務課庶務係長 矢口 雅章
教育総務課庶務係主査 新倉 英之
- 7 議案等
議案
第47号 教育委員会表彰について
- 8 議事の内容

(開会 午前9時40分)

委員長

ただいまから、平成22年流山市教育委員会議第10回定例会を開会します。

まず、平成22年流山市教育委員会議第9回定例会の会議録をお配りしておりますが、御意見、御指摘がございますか。

(特になし との声あり)

委員長

特になしということですので、承認ということにします。

それでは、教育長報告をお願いします。

教育長

おはようございます。まずお断りしておきますが、本日は別室でふるさとづくり功労表彰が予定されておりますので、途中部長と私は交代で中座させていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

さて、現在秋の活動が大変活発に行われているのですが、教育委員の先生方にはそういったものに対して関心を寄せていただいたり、実際に見ていただいたりしていることに御礼を申し上げたいと思います。今日は、後ほど各部課長からそれぞれの行事等の報告や成果、課題等について申し上げますが、私からは主なものについてお話をさせていただきます。

まず、学校関係で一番多いのは教育活動の公開です。公開がなくても計画訪問という形で指導課が中心になって、約半日勉強会をするということを進めております。計画訪問ですので専門職的な勉強、専門性を高めるという勉強をしておりますが、いろいろな会合の中で義務教育の教員とは専門性はもちろん大切なのですが、人間性の勉強をどのように培っていくのかということが課題になっているように思います。例えば、東京都でも最近新卒の教員が多くなっているのですが、こういう人たちが学校の中になかなか適応できない。過去にも進めたこととして、教員の職務について細かく記述したものを配付してそれをもとに勉強する。かつては若い先生のためにそういった冊子を資料に進めていた時代もあり、そういったものを活用してそれぞれの学校では進めているのですが、結局専門性以外の部分、すなわち子どもとの関わり方や地域や保護者との関わり方等においてうまくいかないというようなケースが大変多くなっていると聞いております。よって、私どもはできるだけ人間性の育成というものを勉強会の中に入れていこうということで進めているところです。

次に、このところスポーツや文化活動が進められた中で、特に過日二日間に渡って行われました音楽発表会について、毎年参加しているのは学校間の格差があまりなくなってきたということです。特に、小学校は指導の仕方等

によっても相当な差があったと思います。今、地域の保護者にも入ってもらったり、来賓としていろいろな子どもの活動に関わる方々を外部から入れるということをご6、7年やってきましたが、その方々から大変素晴らしかったという感想もいただいております。これは、東葛地域の音楽活動で活躍なさっている市立柏高校の田嶋先生に来ていただいたのですが、聴く態度もいいし、活動している方も大変良いという、そういったお話がありました。特に、今年は新しい種目の発表があったのですが、流山で初めて弦楽の発表をしました。学校にその部活動があるわけではありません。学校にあるのは合唱部とブラスバンド部です。弦楽については指導者として、地域の人で熱心な方をお願いして、一部の小中学校に声をかけて週に2回だけ僅かな時間練習するという方法をとっています。この2年間の取組の結果、ようやく人前でヴァイオリン、チェロ、ベース等で弦楽をもって活動の発表があったということで、一つの新しいページが開かれたのではないかと考えております。今後、どのように支援できるかということについては、学校の部活動だけでは十分ではありませんので、やはり地域支援という形をもって、学校が地域の中で育つということの一つの形として広げていきたいと考えております。

次に、東葛駅伝競走大会が70校参加して行われました。東部中学校が2年連続で8位入賞です。常にこういった活動を通して話題になるわけなのですが、教育と市場原理からくる効率性については課題となります。例えば、駅伝で強い学校が小学校から上がる段階において学区に拘らない。強い学校にいる指導者のもとに区域外就学が行われていて、小学校からある程度力のある子どもが集まっていくというやり方が一部で見られます。それから音楽などでもやはりその学校の先生以外の人を部活動だけの専門として雇って部活動の指導を進めていくというような学校も最近出てきているということもみられます。教育とまちのPRにも関わるような問題、それをどういうふうによく融合させていくのかということの一つの課題としてあるような気がしております。

それから、いろいろな研究会があるのですが、公開研究会で大きいものとしては、西初石中学校で11月17日にキャリア教育があります。これは千葉県の指定です。それから、長崎小学校の算数関係の公開が10月29日にあります。

次に、来年度予算の編成が始まるのですが、私どもとしては特にこれまで培ってきている国語教育は、現在小中学校とも連携して取り組み始めています。小学校が主だったのですが、これは義務教育における学力の基礎という考え方で国語に力を入れようということをやっていたのですが、最近はコミュニケーション能力を育成するためにどうしても国語は必要だとか、人格形成の基盤になるという考え方も実践している学校の中から出てきており、これはこれで大

変素晴らしいことだと思うので、流山の一つの特色として国語教育は最も進めていきたいと考えています。それに対しての予算配分をどうするかという問題があるのですが、現在よく進められている学校においても課題はあります。例えば先生以外に図書館関係で関わる方々は地域のボランティアで行われているケースが多いのですが、すべてボランティアでやってもらうということはどうなのかという話が現場から出てきております。例えば資料を作ってくことや読み聞かせ、読み語りといったものを学校体制で組んでやっているのですが、そういう方々が多くなればなるほど資料を作ったり、また違った活動を持って来てくださったりして、そういうものが多少必要になっているという声があるということです。全国のある地区では、そういう方々にお昼の給食券を差し上げるとか、図書券1枚差し上げるといったことを行っている町もあるということも伺っています。全くのボランティアで始まることも多いのですが、音楽活動などでは、弦が切れたり楽器が壊れたりした場合に学校の部活動の予算だけでは対応できないものですから、そういった地域での好意をある程度予算化していかなければならないのではないかとということで、今後の取組の中で考えていきたいと思っております。

国語の件から地域関係のお話をさせていただいたのですが、これからいよいよ学校は小中一貫も視野に入れて進めていきますと、流山版評議員制度というものもあるのですが、そのほかにいろいろコーディネートしてくれたり準備してくれたりしてくださる方々に対しての何らかの援助を行いながら、地域の学校としての取組のバックアップを教育委員会として考えていかなければならないのではないかと考えております。

それから、本日お配りしたもののの中に小中一貫教育という資料があります。新聞に載ったのですが、だいたいの方向です。それから別の資料には「校庭に古里の森」について載っておりますが、こういった環境教育等もこれまでビオトープとか小さな森構想を立てて順次進めているのですが、市の施策とうまく組み合わせる教育的に進められる方向でやっていきたいと考えております。その他、来年度のことについてはこの10月、11月にかけて進めていきますので、頑張っていきたいと思っております。

次に、永年勤続表彰なのですが、これは千葉県がかつて教職員を賞賛する意味で30年勤続をした場合には永年勤続表彰として行っていたのです。30年勤続に該当する人というのは、だいたい五十代半ばの人で、退職まで残り数年なのですが、こうなると管理職になっている人とそうでない人とがはっきり分かれるものですから、この辺のところは上手にかみ合わない学校は成果を上げられないような気がしております。県では、数年前にこの30年表彰はやらないことになりました。理由は、ほとんど財政的な問題からだったのですが、

流山市では流山市の教員について30年表彰を行っておりまして、毎年30名くらいの方が該当し、現在非常に多い時期となっています。その方々に感謝状を差し上げて、後任の指導もよろしくお願ひしたいということで、それぞれ自覚を持って進んでいただけるように行っているということです。この表彰は、11月に予定しております。以上です。

委員長

ただいまの教育長報告に対しまして、質疑、意見等がありましたらお願いいたします。

委員

先ほど、音楽教育や国語教育に力を入れているということで、地域の人材を活かしているというお話があったのですが、社会教育の中で人材活用事業をされていると思うのですが、2007年問題等がよく言われていて、団塊世代が60歳になるこのチャンスを活かして、地域の有能な人材を探して教育に協力していただいたりというようなことが話に出たことがあるのですが、やはり有能な人材というのは60歳になってもまだまだ会社とかいろいろな場所で活躍されている方が多くて、まだセカンドライフという感じではないということで、やはり65歳ぐらいになってから地域に目を向けてくれるのかなあという気がするのです。2007年の5年後というと2012年で、もうすぐそれがやってくると思うのですが、流山市内の有能な人材がどこにどんな人がいるのか、例えば音楽とか芸術等で活躍されている方、ビジネスなどで活躍されている方、様々な研究をされている方といった人材はどこにいるのか。そのような方々がリタイアされた後、どのような生活を送られているのか把握されているのかということ、以前から考えていたのです。そのような方々が何か協力したいというときに、受け入れられる状況になっているのかどうかということをお聞きしたいのです。それと関連して、キャリア教育の担当者会議があったと思うのですが、そこでどのような話がされているのかということもお聞きしたいと考えています。

指導課長

人材についてのお話ですが、広く社会から学校教育に御協力いただける方々は、流山義務教育人材活用という形で蓄積もございます。かなり低い謝金なのですが、心ばかりの謝金を出させていただいて、たとえば家庭科のミシンの実習のときにお手伝いいただくとか、音楽関係のものを披露していただくとか様々な人材の名簿ができ上がっておりますし、各学校でもそういったことで取り上げているところです。それからもう一つは、サポートボランティアというものがあります。学校サポートボランティアは市全体で募集しているものと、各学校で活用を図っていくものがございまして、そちらの方も名簿登載をさせ

ていただき、紹介をしているところです。それからキャリア教育の関係ですが、キャリア教育の担当者の研修会も開いておりますが、その中で一番強調しているのは、小学校の高学年と中学校の2年生で職場の見学とか職場の体験ということが目立つのですが、それだけではなくてやはり挨拶なども含めまして全教育活動の中でキャリア教育という視点から見るとこの授業それから日常の教育活動はどういう形で見直すことができるのかということこそ大事にしていきたいという視点を必ず持つようにというような話をして研修をしているところです。

教育長

サポート教員などは60歳で仕事をお辞めになった方も受けられるような体制を作りました。実際、算数・数学では65歳を過ぎた方もおります。これは有償なのですが、全く無償の読み聞かせや読み語りもあります。図書室では図書の補修をしていただいておりますが、これなんかは半日以上やってもそのまま終わってしまうことも多いです。

貢献したいという方と自分の好きなことをしたいという方と二通りあります。何かやりたいのだけれども何かないかということで一番身近なものは安心安全の交通指導をしてくださっている方々です。最近は教科等にも入ってきています。小学校では朝自習の時間の中に何人かの方が入ってきて教科の勉強を見てくれている方もおられます。

委員長

ほかに何かございますか。

委員

先ほど30年表彰のお話や若い先生が学校に溶け込めないというお話がございましたが、これもニュース等で出ていたことなのですが、先生方の職業化ということと、聖域という言葉がなくなっているのかなという気がいたします。これは各家庭の親の高学歴化というものにも繋がっているのかなという気がするのですが、やはり先生がどきどきしてしまうような対応を取らざるを得なかったり、そういう点で不安が多い職場なのかという気がしております。言動一つにしてもそうだと思うのですが、前回の会議の中でもお話をさせていただきましたが高等学校の校長先生を殺したとか、誰が殺したかとかのクイズ形式の問題が出てきたり等の低レベルというか資質の問題であろうかと思うのですが、こういうことがこの地域からも出ないようにと思います。

教育長

学校の中でそういう言葉が飛び交ったりすることは多いです。殺すとか死ぬとかそういう言葉は、残念ながら出てくることはあります。まさに計画訪問は大切に、教科の専門性の勉強以外の部分にウエートを置いて、私どもがそ

う部分をキャッチして話をすることによって考えてもらうことが一つだと思います。それから、今の先生が個業化していることが問題です。職員室に戻ると正面を向いていて人がいても会話をしないとか、小学校だったら教室にずっといて、お昼にしか職員室に戻って来ないというケースもあります。それと同僚性をどのように作るかということにおいて、流山が伝統的に頑張っているのは学級経営なのです。学級経営をやる場合には、学年職員で結集してやっていく。それによる同僚性、しかも専門性の話ばかりだと堅くなりますので、そのところを人間としての生き方に関われるような場を作っていくということにおいて、肩の力を抜かせながら取り組んでいく。これは常に繰り返していく以外にないような気がします。特に頑張っているのは同僚性、流山の場合にはそれでもまだ担任の先生では困るとかという声が出てくる場合もあるので、結集して子どもたちに関わっていこうというそういう取り組みは強めております。

委員

昔は先生方が余暇の時間等の中でストーブ談義といいますが、そういうものがあつたと思うのですが、今は情報を共有するということが少ないのかなという気がしました。どうもありがとうございます。

教育長

東葛管内の話ですが、若い先生が入ってくると指導員の先生がつきます。それで、せっかく教科の勉強会があつても、その指導員の先生がいればそれでいいという地区もあるそうです。流山の場合には社会科の先生が授業をやる場合には、同じ学校の社会科の先生が自分のクラスの子どもに課題を与えておいても20分や30分はその授業を見に行つて、その若い先生に声をかけてあげる。そういう取組は校長先生等が上手くやってくれています。

委員長

ほかにございますか。

委員

先ほどの表彰のお話ですが、30年表彰の対象者というのはどんな成績でも表彰されるのかということなのですが。

教育長

これは、何人かの優秀な教員を表彰するのではなくて、30年勤続したことに対して感謝状のような形で御苦労様という意味のものなのです。これによって、最後の締めくくりのところまでもう少し頑張ってくださいというものです。

委員

ここ最近、各地で災害が起こつていて気になるところがあるのですが、教育

委員会の所管の公民館等の建物の耐震性とか災害の備蓄について教えていただければと思います。

教育総務課長 学校施設についてですが、本年度における耐震化率は91.7%です。校舎が今年ですべて終了しまして、来年7校の体育館の耐震工事が終わりますと100%となります。今年の4月の時点の全国と千葉県の平均なのですが、全国平均が73.3%、千葉県平均が65.4%でございますので、流山の学校では来年で安全を確保できるということです。これは、市長の公約の中で最優先課題として取り組ませていただきました。学校施設については来年で完了するという形になります。

生涯学習課長 生涯学習課は、市民総合体育館と生涯学習センターです。生涯学習センターにつきましては建築年度が新しいものですから、耐震工事の対象になっておりません。体育館につきましては、やはり耐震性に問題があるということで、建替えの検討をしているところです。

委員 民間の資金を入れて建て替えるのですか。

生涯学習課長 それも含めて検討をしております。

委員 気になっているのは公民館等で小さめで古めの施設があると思うのですが、そういう施設に地域住民が何かあったときに避難するのではないかと思うのですが。

公民館長 公民館につきましては、施設は5館ございます。中央公民館が文化会館で北部、東部、初石、南流山センターです。実は、今年度南流山センターの耐震診断が終わったところで、耐震診断はすべて終わりました。先の教育委員会議でも御報告させていただきましたが、文化会館につきましては今年度と来年度の2か年をかけまして耐震改修工事を実施します。北部公民館につきましては、来年度に耐震の設計を予算要求し、それに基づいて耐震化補強工事を進めて参りたいと考えております。東部、初石、南流山センターにつきましては耐震診断の結果、補強の必要はないということになっております。

教育総務課長 捕捉ですが、先ほど学校の耐震化が終わるというお話をしましたが、教育長の方針でトイレの改修にもかかっておりまして、是非御覧いただきたいと思いますが、かなり環境が見違えるものになっております。いずれ広報等を通じて

御紹介しようと思っております。今後、これも引き続きやっていくということと、耐震性、安全性はもちろんのこと、機能的に大規模改造ということを経年踏み込こんでいき、安全面も含めて機能的な改善を含めた事業を進めていきたいと考えております。

委員

ハードの面だけではなくて、例えばもしも災害時の避難所として使われたら、避難所の所長さんは校長先生になるのかどうか分かりませんが、地域の方と避難所の運営をどうやっていくのか。例えば、いざという時に鍵が閉まっていたら入れないとか、誰がどういう順番でどこに寝るのかとか、そういう避難所運営というものですね。備蓄品をどうやって配ったり、使ったりするのか、ソフト的な話についても準備しておかないといけないのではないかと考えております。

教育総務課長

流山市では、市長部局に安心安全課という部署がございまして、流山地域防災計画の中で避難所のあり方や、今回耐震化が終わりましたので、今までは体育館だけを使用する形になっていたのですが、教室も使う形で学校側の協力をいただきまして、いろいろな形での避難をされる方がおりますので、できるだけ安心できるような形を踏み込んで進めるということでございますので、そこは順次災害に備えて対応を図っていきたいと考えております。

図書・博物館
長

図書館と博物館の耐震ですが、中央図書館と博物館は一体の施設でございまして、来年度耐震補強の設計を行いまして、平成24年度に耐震補強工事を実施するというところで現在進めているところです。北部地域図書館につきましては、耐震工事の必要はございません。それから防災備蓄倉庫のお話でしたが、来年度から東部地域図書館の建設を始めますが、そこには防災備蓄倉庫を併設する予定で現在進めております。

委員長

そのほかにございませんか。

(特になし との声あり)

委員長

それでは以上で教育長報告を終了したいと思います。

これより議事に入りますが、議案第47号「教育委員会表彰について」は、個人に関する情報が含まれています。よって、議案第47号につきましては、流山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により、非公開とし、本日の議事日程につきまして当該案件を同会議規則第10条第1項の規定により、各

課等報告（４）の後に繰り下げたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし との声あり）

委員長

御異議なしと認めます。議案第４７号につきましては、非公開とし、各課等報告（４）の後に審議します。

それでは、各課等報告について指導課からお願いします。

指導課長

- １ １月の主な行事予定について
- ２ 第６４回東葛飾地方中学校駅伝競走大会の結果について
- ３ 平成２２年度東葛飾地方教育展の結果について
- ４ 平成２２年度千葉県科学作品展の結果について

委員長

次に、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

- １ 主催事業について
 - （１）健康都市宣言のまち第１９回ロードレース大会結果
 - （２）第２７０回サロンコンサート
 - （３）市民ギャラリー展
 - （４）コミュニティスポーツのつどい万歩人シリーズ「大堀川～手賀沼ウォーキング」
 - （５）四季の花々展
 - （６）コミュニティスポーツのつどい歩こう会「晩秋の手賀沼湖畔ウォーキング」
 - （７）コミュニティスポーツのつどい「市内１００か所巡りウォーキング」
- ２ 後援事業について
 - （１）流山市観光協会創立４０周年記念 利根運河歌舞伎
 - （２）江戸川ガールズコレクション
 - （３）サイクリングで清水公園にGO!
 - （４）４０周年記念イベント「みんなであそぼう！」
 - （５）第３４回青少年紅白柔道大会
 - （６）家事家計講習会
 - （７）第３１回あけぼの書道会作品展
 - （８）心の架け橋
 - （９）コンサートミューズ 抒情歌コンサート

委員長

次に、公民館からお願いします。

公民館長

- 1 主催事業について
 - (1) 家庭教育講演会「家族で宇宙へ～宇宙の謎なぞ～」
 - (2) 女性セミナー～今さら聞けないマナー講座～
 - (3) 料理教室
 - (4) 市民教養講座「東京史跡散策」
 - (5) 子育てママのセミナー～あかちゃんといっしょ～
 - (6) ゆうゆう大学公開講座
～ダニエルカールさんと井崎市長の国際理解トーク～
- 2 共催事業について
パパ・タラフマラ「白雪姫」
- 3 指定管理者主催事業について
 - (1) 東部公民館楽しい折り紙教室
 - (2) 東部公民館パソコン教室
 - (3) 北部公民館水曜夕暮れサロン

委員長

次に、図書・博物館からお願いします。

図書博物館長

- 1 主催事業について
 - (1) 図書館
赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの会
人形劇のつどい
古典文学講座
 - (2) 博物館
博物館ゼミナール
博物館子ども教室
- 2 後援事業について
 - (1) 図書館
第34回公開読書会
富安陽子氏講演会(子どもと本を結ぶ講演会)
- 3 指定管理者主催事業について
 - (1) 図書館
第13回森の学校
森の健康講座
 - (2) 博物館

第6回小林一茶まつり
大人のための水彩画教室(第1回)
季節を楽しむ簡単クラフト(第5回)
花語り茶話会
一茶双樹俳句交流大会表彰式

委員長 以上の各課等報告への質疑、意見等がありましたらお願いします。

委員 利根運河の120年の記録は素晴らしいと思います。私、土木学会に入っているのですが、こういう冊子は学会に寄贈されたりはされておりますか。

図書・博物館長 はい。全部で700部ほど作成いたしまして、交流のある図書館や博物館、あるいは学会にお送りするのですが、土木学会にもお送りさせていただきます。

委員 寄贈されたら、寄贈図書ということで学会誌に記事として書かれると思いますので是非お願いします。

図書・博物館長 写真が多いものですから、写真を大きくして御覧いただくということで横版にいたしました。

委員 すごく分かりやすくいいと思います。

委員長 そのほか、何かございますか。
特にないようですので、各課等報告についての質疑を終了します。
続きまして、先ほど非公開と決定しました議案第47号の議事に入ります。

議案第47号「教育委員会表彰について」

学校教育部長の説明後、審議に入り、原案どおり可決された。

(非公開案件終了)

委員長 以上をもって本日の教育委員会議に付議された案件の審議は終了いたしました。
その他協議する事項がありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

委員長

それでは次回の教育委員会議について、事務局からお願いします。

教育総務課長

次回の教育委員会議は、11月29日(月)委員会室で、午前10時からとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(次回の日程等協議)

委員長

次回の教育委員会議は、11月29日(月)委員会室で、午前10時から開催することとします。

以上で、平成22年流山市教育委員会議第10回定例会を終了します。

(閉会 午前10時40分)